



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プロシップ

コード番号 3763 URL <http://www.proship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川久保 真由美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 馬庭 興平

TEL 03-5805-6121

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,601	△0.3	472	1.5	474	0.4	309	2.6
27年3月期第2四半期	1,605	7.2	465	145.6	472	145.9	301	171.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 311百万円 (3.2%) 27年3月期第2四半期 301百万円 (170.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	83.20	81.85
27年3月期第2四半期	82.23	80.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	7,450	6,093	81.2
27年3月期	7,232	6,069	83.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,050百万円 27年3月期 6,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期期末配当金の内訳 普通配当70円00銭 記念配当10円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	3,800	8.1	1,175	0.2	1,185	0.3	747	0.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	3,757,000 株	27年3月期	3,757,000 株
28年3月期2Q	34,370 株	27年3月期	42,470 株
28年3月期2Q	3,718,072 株	27年3月期2Q	3,666,332 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	9
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府や日本銀行の各種施策により、企業の収益改善、設備投資意欲は好調に推移する等、緩やかな回復基調が続いております。また、アジアにおいては中国経済の伸び率鈍化の傾向にあるものの、全体としては底堅く推移しました。

情報サービス産業におきましては、グローバル対応やガバナンス強化等に向けたシステム刷新に対して、前向きに検討する企業が増えております。一方で、検討期間は長期化しており、企業の投資に対する意思決定に際しては慎重さが残っております。

このような状況下で当社グループは、企業の業務課題の解決に向けたソリューションとして、固定資産ソリューション及び販売管理ソリューションを提供してまいりました。主力の固定資産ソリューションにおいては、新規ユーザーの獲得や既存ユーザーへの追加提案を継続して行い、販売管理ソリューションにおいては、当社の優良顧客基盤を活かしながら、他社との差別化を図った提案活動を行ってまいりました。これにより、引き合い数や提案中の案件は増加しているものの、提案期間の長期化の影響を受け、当第2四半期連結累計期間においては受注高の増加には至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,601百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益472百万円(同1.5%増)、経常利益474百万円(同0.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益309百万円(同2.6%増)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

①パッケージソリューション事業

主力の固定資産ソリューションにおいては、新規ユーザーの獲得や既存ユーザーの追加案件獲得に向けた提案活動を行い、販売管理ソリューションにおいては、他社との差別化を図った提案活動を行ったことで、引き合い数や提案中の案件は増加しております。しかし、企業の投資意欲が高まっている一方で、投資に対する意思決定には、未だ慎重さが残り、提案期間が長期化しております。この結果、売上高は1,492百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は445百万円(同3.6%増)となりました。

②その他事業

その他事業におきましては、既存顧客の受託開発や運用管理等の対応を行ってまいりましたが、顧客の予算動向の影響を受けて減少しております。この結果、売上高は109百万円(前年同期比15.2%減)、営業利益は26百万円(同25.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,941百万円となり、前連結会計年度末に比べ175百万円増加いたしました。これは主に前連結会計年度末の売掛金が回収されたこと等から、売掛金が453百万円減少し、現金及び預金が590百万円増加したことによるものであります。固定資産は509百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。

この結果、総資産は7,450百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ191百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が70百万円減少したものの、パッケージ保守に伴う前受金の増加等によりその他が174百万円増加したことによるものであります。また固定負債は221百万円となりました。

この結果、負債合計は1,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ193百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、6,093百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は81.2%(前連結会計年度末は83.3%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,976百万円(前年同期比30.0%減)となりました。当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は951百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は626百万円となりました。これは主に前年同期と比較し、定期預金の預入が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は284百万円(前年同期比15.8%増)となりました。これは主に配当金の支払額が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、商談の数は増加しており、システム刷新、更新等の提案機会が増えていることから、受注の回復を見込んでおります。

以上のことから、平成27年5月8日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,745,425	6,336,363
売掛金	762,808	309,360
有価証券	100,000	100,000
仕掛品	79,417	101,659
貯蔵品	954	1,027
その他	77,025	92,895
流動資産合計	6,765,631	6,941,306
固定資産		
有形固定資産	23,191	29,276
無形固定資産		
ソフトウェア	146,359	182,792
その他	2,614	2,614
無形固定資産合計	148,974	185,407
投資その他の資産	294,858	294,906
固定資産合計	467,024	509,590
資産合計	7,232,656	7,450,897
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,078	85,092
未払法人税等	244,013	173,855
賞与引当金	58,700	157,141
役員賞与引当金	17,900	17,500
受注損失引当金	459	—
その他	527,408	702,309
流動負債合計	944,559	1,135,898
固定負債		
役員退職慰労引当金	109,600	109,600
退職給付に係る負債	109,073	111,699
固定負債合計	218,674	221,299
負債合計	1,163,233	1,357,198

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	431,125	431,125
資本剰余金	475,054	482,239
利益剰余金	5,156,320	5,168,510
自己株式	△39,516	△31,982
株主資本合計	6,022,983	6,049,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,264	558
その他の包括利益累計額合計	△1,264	558
新株予約権	47,704	43,247
純資産合計	6,069,422	6,093,699
負債純資産合計	7,232,656	7,450,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,605,555	1,601,447
売上原価	679,612	652,495
売上総利益	925,942	948,952
販売費及び一般管理費	460,708	476,920
営業利益	465,234	472,031
営業外収益		
受取利息	939	1,026
受取保険金	5,000	—
その他	1,372	1,421
営業外収益合計	7,312	2,447
営業外費用		
為替差損	—	4
営業外費用合計	—	4
経常利益	472,546	474,475
特別利益		
新株予約権戻入益	1,266	2,266
保険解約返戻金	2,964	1,712
主要株主株式短期売買利益返還益	4,426	—
特別利益合計	8,657	3,979
税金等調整前四半期純利益	481,204	478,455
法人税等	179,728	169,103
四半期純利益	301,475	309,352
親会社株主に帰属する四半期純利益	301,475	309,352

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	301,475	309,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	1,823
その他の包括利益合計	△14	1,823
四半期包括利益	301,461	311,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,461	311,175

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	481,204	478,455
減価償却費	61,553	43,565
賞与引当金の増減額 (△は減少)	71,840	98,441
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,500	△400
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	603	2,625
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,112	△459
受取利息及び受取配当金	△1,049	△1,136
為替差損益 (△は益)	—	4
新株予約権戻入益	△1,266	△2,266
売上債権の増減額 (△は増加)	384,246	453,448
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△52,036	△22,314
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,158	△18,908
前受金の増減額 (△は減少)	228,076	278,542
その他	△22,604	△118,297
小計	1,141,798	1,191,300
利息及び配当金の受取額	1,249	683
法人税等の支払額	△245,850	△240,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	897,196	951,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	1,000,000	△550,000
有形固定資産の取得による支出	—	△11,356
無形固定資産の取得による支出	△69,376	△64,263
敷金の回収による収入	316	—
その他の支出	—	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	930,939	△626,219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	10,389	12,529
配当金の支払額	△256,032	△296,871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,642	△284,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,582,493	40,938
現金及び現金同等物の期首残高	1,238,928	1,935,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,821,422	1,976,363

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	899,255	△28.6	723,482	△21.2
保守	472,502	△24.0	1,671,911	△1.2
受託開発	40,255	△22.3	17,200	△35.4
運用管理等	75,503	△8.6	9,202	△42.9
合計	1,487,517	△26.2	2,421,797	△8.8

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る受注も含んでおります。

4. 運用管理等には商品受注を含んでおります。

②販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	910,632	△2.5
保守	581,800	7.1
受託開発	40,970	△30.6
運用管理等	68,044	△2.2
合計	1,601,447	△0.3

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る売上も含んでおります。

3. 運用管理等には商品売上を含んでおります。